

Google Maps サービス変更について

2018.10.19

Ver.1.1

株式会社ゼンリンデータコム

ネットサービス本部

目次

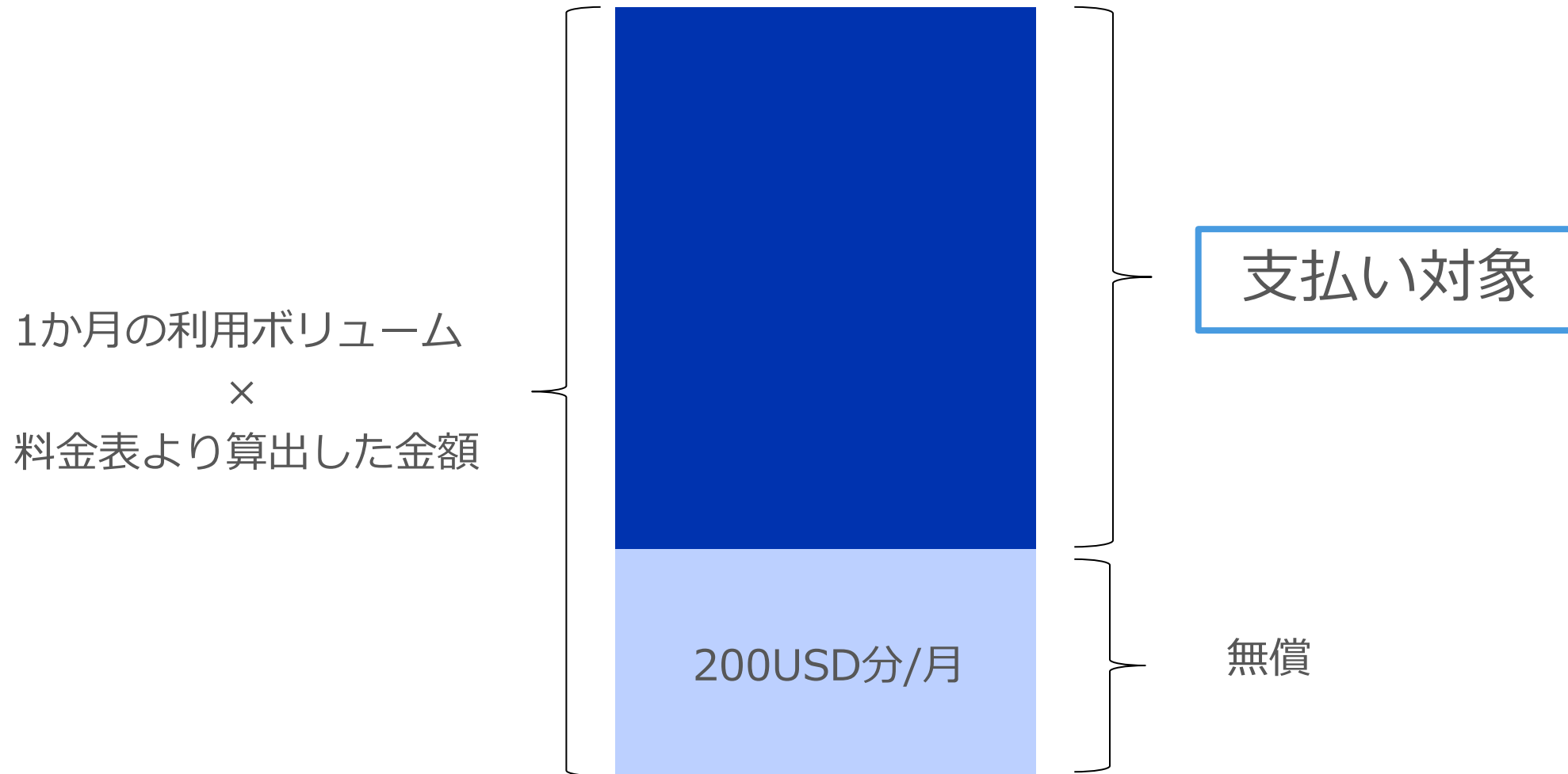
1. サービス変更の概要は？	…02
2. 無償枠とは？	…03
3. 無償枠_これまでの無償サービスはどう変わるの？	…04
4. 無償枠_これまでの有償サービスはどう変わるの？	…05
5. Keyless で利用していたサイトはどうなるの？	…06
6.新しいサービスを利用するには、どうすればいいの？	…07
7.ゼンリンGr.と契約するメリットは、何？	…08
8. マッシュアップで何ができるの？	…09

1. サービス変更の概要は？

本年5月に Google から「Google Maps のサービス変更」のアナウンスメントがありました。

	変更前	変更後
名 称	Google Maps API's Premium Plan（有償版） Google Maps API（無償版）	Google Maps Platform
利用形態 と 支払い方法	①無償版利用（API Key無） or ②無償版利用（API Key有 + 支払い設定無し） or ③無償版利用（API Key有 + 支払い設定あり） or ④Google Maps API's Premium Plan（有償版）	API Key ⇒ 必須 支払い方法の設定 ⇒ 必須 i .クレジットカード払い ii .請求書払い （ i か ii のどちらかを選択） API Key や支払い方法を設定しないと、 地図が利用できなくなります。

2.無償枠とは？



3.無償枠_これまでの無償サービスはどう変わるの？

	変更前		変更後
Google Maps API (無償サービス)	JavaScript API	25,000マップロード / 日	200USD/月 相当分
	Static Maps API	25,000マップロード / 日	
	Street View Image API	25,000マップロード / 日	
	Geocoding API	2,500リクエスト / 日	
	Directions API	2,500リクエスト / 日 10経由地点 / リクエスト	
	Dstance Matrix API	2,500要素 / 日	
	Roads API	2,500リクエスト / 日	
	Elevation API	2,500リクエスト / 日	
	Time Zone API	2,500リクエスト / 日	
	Geolocation API	2,500リクエスト / 日	
	Places API	15万リクエスト / 日 (クレジットカードによる本人確認後)	

変更前は、一日毎の無償利用量が設定されており、00：00にリセットされていましたが、
変更後は、1か月単位で利用量×利用金表で算出された金額から200USD分だけが無償となります。

4.無償枠_これまでの有償サービスはどう変わるの？

	変更前		変更後
Google Maps API's Premium Plan (有償サービス)	Geocoding API	10万リクエスト / 日	200USD/月 相当分
	Directions API	10万リクエスト/ 日 23経由地点 / リクエスト	
	Dstance Matrix API	10万要素 / 日	
	Roads API	10万リクエスト / 日	
	Elevation API	10万リクエスト / 日	
	Time Zone API	10万リクエスト / 日	
	Geolocation API	10万リクエスト / 日	

変更前は、一日毎の無償利用量が設定されており、00：00にリセットされていましたが、
変更後は、1か月単位で利用量×利用金表で算出された金額から200USD分だけが無償となります。

5.Keyless で利用していたサイトはどうなるの？

Google による
発表

<https://cloud-japan.googleblog.com/2018/05/introducing-google-maps-platform.html>
<https://cloud.google.com/maps-platform/user-guide/>

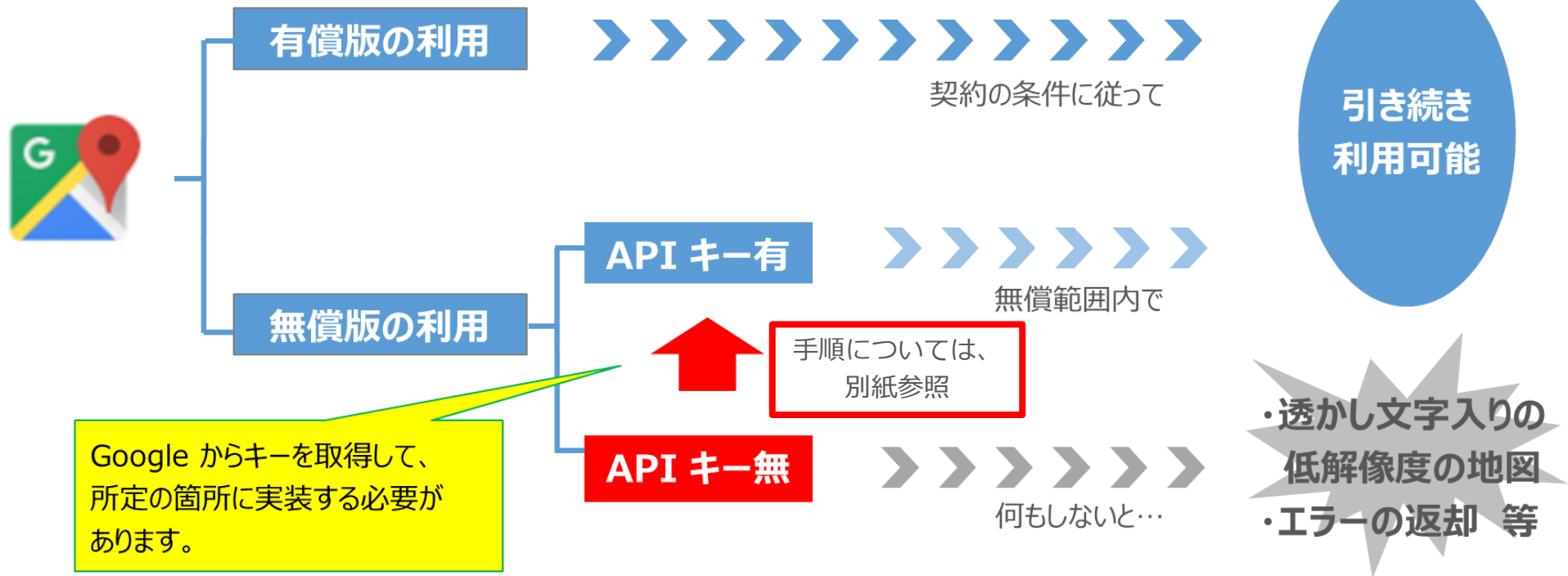
徐々に利用できなくなるサイトが増えていきます。

5/3

Announcement Date

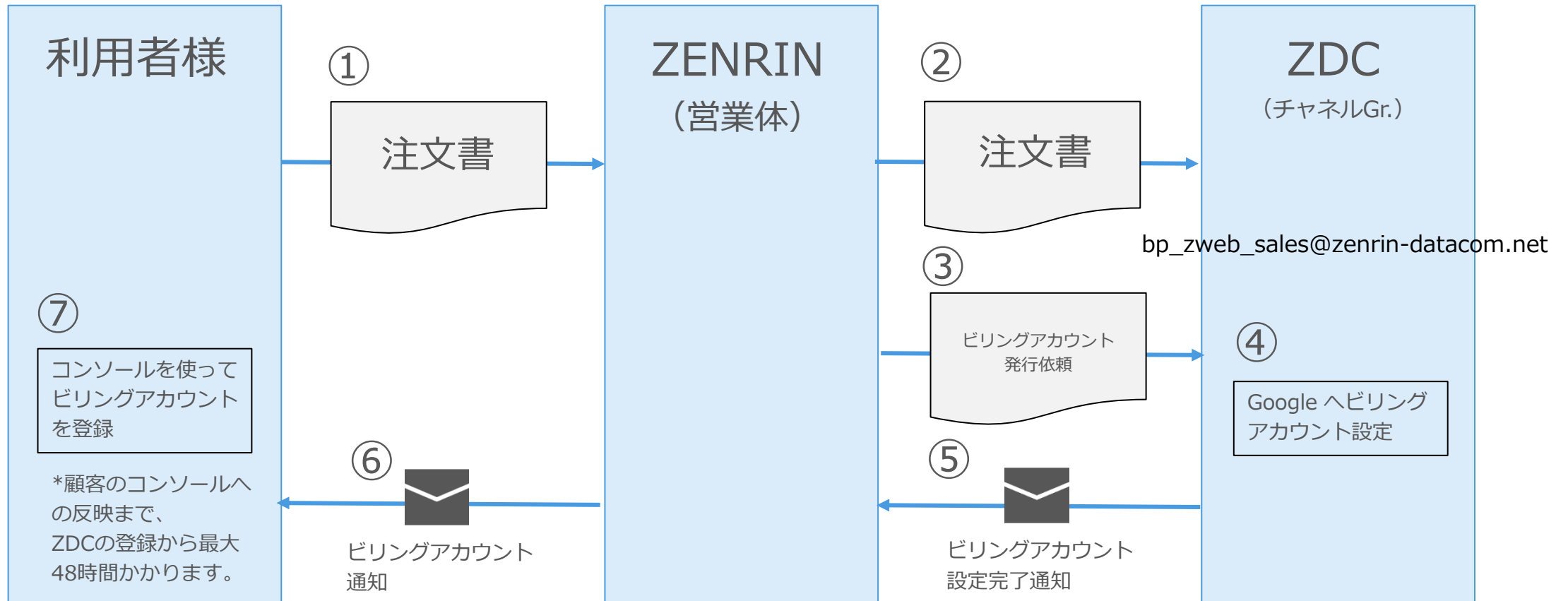
6/11

Effective Date

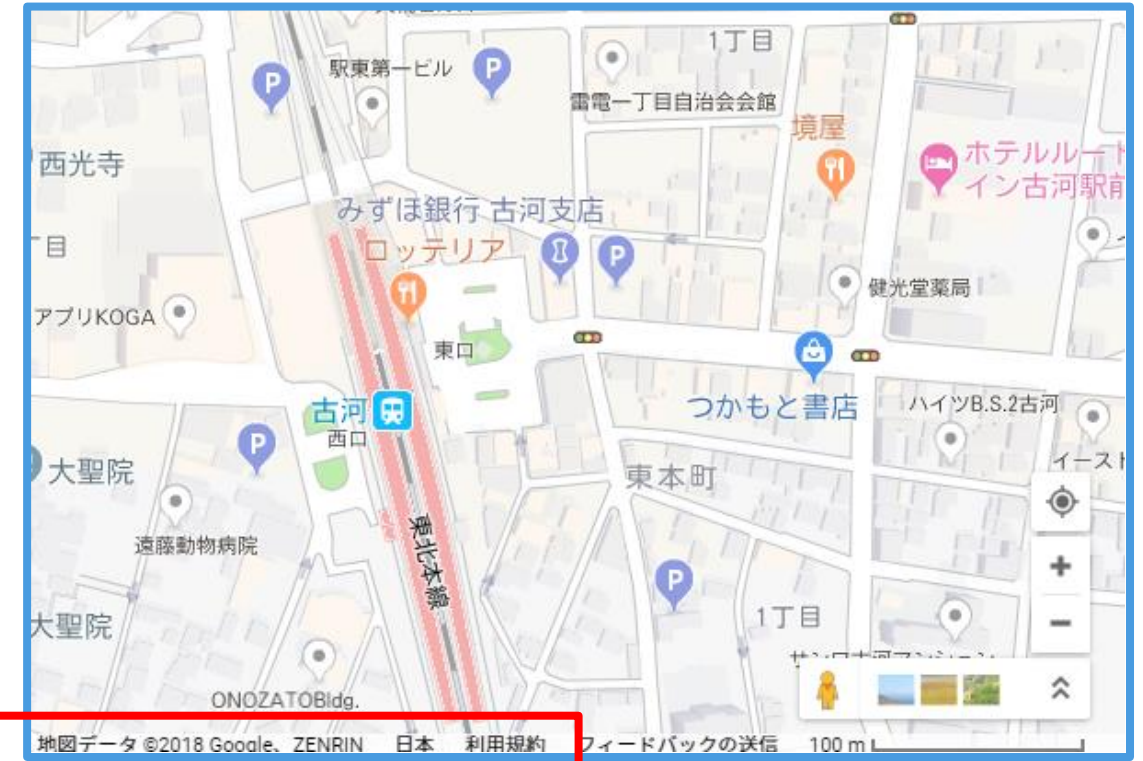
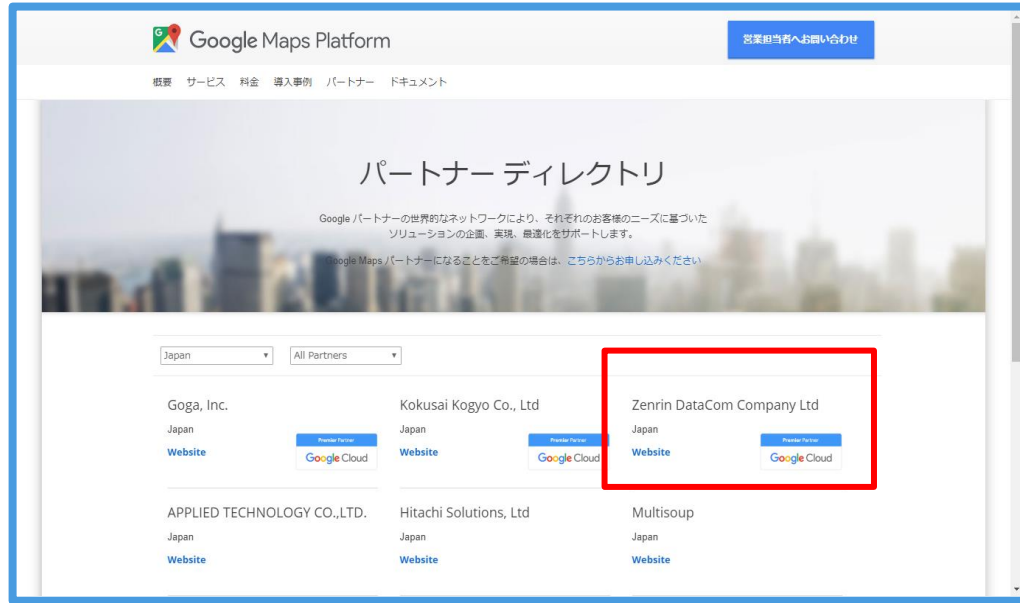


6.新しいサービスを利用するには、どうすればいい？

<利用開始までのフロー>



7.ゼンリンGr.と契約するメリットは、何？



1. Google Maps Platform の正規代理店であること。
(Premier Partner)
2. 豊富な営業実績（国内500社以上）があること。
3. Google Maps の日本国内の地図データは
ゼンリンから提供していること。
4. 地図の二次利用（複製利用）の申請受付も行っていること。
(ゼンリン地図データに関して)

8. マッシュアップで何ができるの？

Google Maps
Platform



ゼンリンGr.の
データ、コンテンツ、機能

高機能なGoogleマップに、ゼンリングroupが提供するゼンリン住宅地図、施設情報、電車やバスの乗換案内、印刷許諾など、ビジネスの目的に応じた機能の組み込みが可能です。お客様のご要望に合わせた最適なシステムをご提案します。

8. マッシュアップで何ができるの？

周辺施設検索

ゼンリンが独自に整備した観光、学校、銀行、飲食店など、多岐に渡るジャンルから施設検索が行えます。また、他にも各コンテンツプロバイダー専用情報(グルメ情報)など、豊富な施設情報のご提供も可能です。



■ 導入事例：株式会社LIFULL様（住宅情報サイトHOME'S）

◆ 導入後の利点と効果 ◆

地図に大量の物件情報を表示してもレスポンスが落ちず、多くのユーザーの方々がサービスを利用しても一定の品質を保証されているので、安心してサービスを運用できるようになりました。また、不動産の物件情報と関連した公共施設や銀行、コンビニ、スーパーなど、たくさんの地域情報も検索できるようになったことで、利便性が向上しユーザー数も増加しました。



お客様

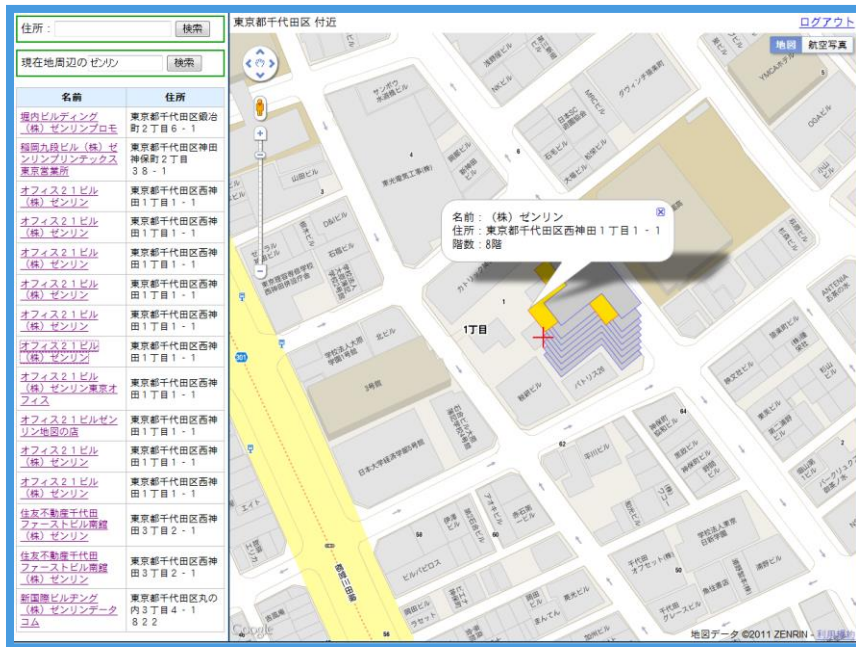


■ 導入事例：株式会社レオパレス21様

8. マッシュアップで何ができるの？

住宅地図API

住宅地図データによって、詳細な検索やポリゴン等の Google Mapsに足りない情報を捕捉したり、住宅地図とGoogle Maps の持つ航空写真・ストリートビュー機能等との連携など、それぞれの優れたコンテンツ・機能を利用することで、従来にないシステムを構築することが可能となります。



表札検索機能と建物ポリゴン情報を活用した
タッチインターフェースによる情報検索

住宅地図情報をベースに、航空写真と
ストリートビューを連携させたシステム

